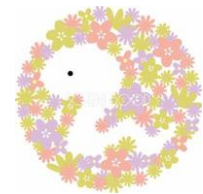


光葉同窓会メールマガジン



<2025年1月号>

211号 2025.1.15 配信

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えされたこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

「今年は巳年。努力や準備が実を結び始める、物事が安定していく」との年で、脱皮を繰り返す巳（へび）は、生命力・再生・発展のシンボルともいわれます。粘り強く前向きに進み、より発展する同窓会を目指して活動していきたいと思えます。

今月の生涯学習講演会に引き続き、2月には講習会とワーキングネットワークのイベントが計画されています。ぜひご参加ください。
(常任委員 小藪江 園香)

◇ワーキングネットワーク キャリアプランニングセミナー開催

第1回「公務員の仕事を知ろう」

同窓生、在学生向けのキャリアプランニングセミナーを実施します。

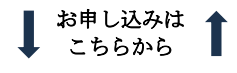
転職やさまざまな「働く」に興味はあるけれど、何から始めたらよいか分からない方、お茶を飲みながら気楽に語り、ネットワークを広げませんか？

教員、国家公務員(プロパー、経験者採用、派遣など)のワーキングメンバーの経験者がスピーチ。参加者からの質疑応答、就職支援・キャリアアドバイスなどを行います。お気軽にご参加ください。

日時 2月8日(土) 13:00~15:00 会費：無料

場所 昭和女子大学8号館ラウンジ

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfaXOIDEWxD2npJaCo0cfYaAktK6sD36WgkUZ6iOOOf-5wHg/viewform?usp=sf_link



◇光葉同窓会生涯学習 「パン作りの会」参加者募集

[メニュー] 基本のテーブルロール/シナモンスイートルール

デザート：オレンジ・ババロア

開催日時 1回目 2月18日(火) 2回目 2月25日(火)

実習時間 12:15~16:00

定員 各日 先着8名 定員になり次第締め切ります。

会場 富澤商店レンタルキッチン 渋谷東急フードショー内(渋谷マークシティ B1F)

参加費 3,000円 当日会場受付でお支払いください。受付開始 11:50~

持ち物 エプロン、三角巾、マスク、手拭きタオル

申込方法 ①講座名 ②参加希望日 ③氏名 ④卒業年 ⑤卒学科 ⑥連絡先(携帯)を記載し、メールで申し込みください。

申込先 Email: dousoukai@swu.ac.jp (光葉同窓会事務局)



◇支部会開催予定 ・2月18日(火) 三重県支部

◇光葉同窓会生涯学習報告 講演会を行いました

1月11日(土)、29名が参加し、外交官、ボスニア・ヘルツェゴビナ大使をされていた本学理事長の山崎日出男氏に「国際情勢と日本」についてお話しいただきました。豊富な経験と知識に基づいて大使の業務、アメリカ政治や大統領選の仕組み、EU拡大の問題点などについてお聞きしました。参加者から「激動の世界情勢がわかりやすく興味深かった。移民の話などぜひまたお聞きしたい」と感想がありました。



広げよう光の葉

川崎 久子 さん

1987年卒 家政学科卒業

「家政学科二部を足掛かりとして夢をかなえる」

みなさまにはあまりなじみのない短期大学部二部の学生生活を振り返りながら、その意義や価値についてお伝えしたいと思います。

私が卒業した1980年代は、多くの人に学ぶ機会を提供しようと夜間開講をする大学がありました。私は、被服学に興味をもっており、1級衣料管理士となって百貨店で活躍したいと思っておりましたが、1級衣料管理士を養成する大学への進学は経済的に困難でした。



それではまず自立しようと戦略をたて、看護専門学校に進学し、21歳で看護師免許取得。その後1年間、看護師の経験を積むとともに昭和女子大学の入試過去問題集(赤本)を精読し受験準備を整え、3倍の受験倍率でしたが家政学科に無事合格でき安堵しました。入学後は、8時半から17時まで総合病院の中央手術室看護師、18時から21時までは学生という生活が始まりました。

クラスメートの中には、偶然にも高校の後輩がいて、三宿にあった防衛庁の事務官でした。また、35歳のクラスメートは「子供が昭和小学校1年に入学することになり、自分も短大1年生になりました」と話しておられ、学ぶ機会に年齢制限はないと力強く感じました。

在学時の先生方は、常に温かく優しいまなざしでご指導にくださいました。ブラウス、スカート、浴衣、一つ身、レース編み、マフラー編み、日本料理、西洋料理、中華料理、設計製図、缶詰制作など楽しいことばかりが思い出されます。

短期大学を卒業した後は、看護師として勤務する傍ら放送大学(生活と福祉専攻)に編入学しました。放送大学を卒業して10年後に看護系大学院修士課程に進学する機会を得て2度目の夜学生活となりました。短期大学時代を懐かしく思い出しながら、修士課程を修了しました。修了後は、公立大学看護学部の専任講師となり、准教授と経験を重ねて、金銭的にも余裕ができました。そこで、54歳になっておりましたが、1級衣料管理士の夢をかなえるべく昭和女子大学短期大学部の卒業証明書と成績証明書を取り寄せ、他大学ですが生活科学部生活環境学科の一般編入学試験を受験し、合格することができました。短期大学で使った被服材料学のテキストも活用して学修した結果、56歳で1級衣料管理士を取得しました。嬉しかったです。

現在は地元の私立大学看護学部で基礎看護学の授業を講義しております。大学における教育期間は短くても生涯にわたり影響を及ぼすことを心にとめ、誠実に学生にかかわっていきたいと考えています。 【End】